



国際交流基金アジアセンター  
アーツカウンシル東京  
(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
株式会社パルコ

ストリートダンスを通して、アジアとの文化交流を図り、  
ストリートダンスの聖地「渋谷」から良質なエンタテインメントを国内外に発信

## **SAM (TRF) と三浦大知の参加が決定**

# **『Shibuya StreetDance Week 2015』開催！**

## **国内最大規模のストリートダンスの祭典**

- **SAM 率いるハウスダンスユニット、SHOWGUN、s\*\*t kingz が高校生対抗ストリートダンス選手権「SSDW CONTEST」でゲストパフォーマンスを披露**
- **本イベントのテーマソング『music』を歌う三浦大知が来場者自由参加型ダンスプログラム「DANCE WITH music」にサプライズ出演！**
- **三浦大知本人による『music』特別振付け動画を11月10日(火)17時から公開！**
- **長谷部 健渋谷区長とSAMが「Talk Spot」に登場**

【日 時】 2015(平成27)年11月22日(日)、23日(月・祝)  
【会 場】 代々木公園(野外ステージ・ケヤキ並木・イベント広場)  
HARLEM、渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

国際交流基金アジアセンター、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、株式会社パルコは、日本とアジアとの文化交流を図りながら、世界中から注目されるストリートダンスを国内外に発信する『Shibuya StreetDance Week 2015』(以下「SSDW」)を渋谷区内で開催いたします。

SSDW は幅広い層に支持される新しい芸術文化としてのストリートダンスの確立と、ストリートダンサーの聖地である渋谷から世界へ良質なエンタテインメントを発信し、渋谷をより活気に溢れた街にすることを目的として1年に1回、11月の勤労感謝の日を中心とした週末に開催する国内最大規模のストリートダンスの祭典です。

初開催の今回は11月22日(日)、23日(月・祝)の2日間、“表現者(ダンサー)”、“参加者(オーディエンス)”、“舞台(ステージ)”を繋ぐことを目指し、世界最高水準のダンサー陣による特別舞台公演、体験型イベント、世界的に活躍するダンサーをはじめとした異分野の表現者によるパネルディスカッションなどを、渋谷を舞台に展開します。

この度新たに、高校生対抗ストリートダンス選手権「SSDW CONTEST」にて、SAM(TRF)率いるハウスダンスユニットやSHOWGUN、s\*\*t kingzによるゲストパフォーマンスの披露が決定いたしました。また、SSDWのテーマソング『music』を歌う三浦大知の来場者自由参加型ダンスプログラム「DANCE WITH music」へのサプライズ出演、さらに、長谷部健渋谷区長、SAMらのストリートダンスについて語り合う「Talk Spot」への登壇も決定いたしました。

SSDWの開催概要については、次頁以降をご参照ください。

### **<本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先>**

『Shibuya StreetDance Week』PR事務局(共同PR内)

担当: 飯泉・高橋・杉浦 TEL: 03-3571-5228

MAIL: atsushi.iizumi@kyodo-pr.co.jp(飯泉)、j-takahashi@kyodo-pr.co.jp(高橋)

株式会社パルコ エンタテインメント事業部

担当: 中西・三宅 TEL: 03-3477-5857

MAIL: naka-sati@parco.jp(中西)、miyak-aki@parco.jp(三宅)

## 《Shibuya StreetDance Week 2015 開催概要》

- 【開催日】 2015(平成27)年 11月22日(日)、23日(月・祝)
- 【会場】 代々木公園(野外ステージ・ケヤキ並木・イベント広場) <東京都渋谷区代々木神園町 2-1>  
HARLEM <東京都渋谷区円山町 2-4 Dr.ジーカンス 2F, 3F>  
渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール <東京都渋谷区桜丘町 23-21>
- 【主催】 国際交流基金アジアセンター  
アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
株式会社パルコ
- 【共催】 渋谷区
- 【助成・協力】 東京都
- 【後援】 公益財団法人東京都公園協会
- 【特別協力】 東京急行電鉄株式会社
- 【協力】 渋谷公園通商店街振興組合、商店街振興組合原宿表参道櫺会  
特定非営利活動法人東京学芸大こども未来研究所
- 【協賛】 株式会社グローイングトゥギャザー(リファイン渋谷店)、CAMURO DANCE STUDIO、  
En Dance Studio、HANEDA ENTERTAINMENT STUDIO、Pleasure Garage Group、  
SOUL AND MOTION DANCE STUDIO、STUDIO A-Sh
- 【企画・制作】 株式会社パルコ
- 【公式サイト】 <http://www.streetdanceweek.jp>
- 【事務局】 Shibuya StreetDance Week 事務局(株式会社ムーヴメント内)  
住所: 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1丁目 17-2  
TEL: 03-5312-9823(対応時間: 10:00~19:00 ※土日祝日除く)  
MAIL: [info@streetdanceweek.jp](mailto:info@streetdanceweek.jp)

## ◀『Shibuya StreetDance Week 2015』主なプログラム内容▶

参加プログラム

高校生対抗ストリートダンス選手権

現在  
参加チーム  
募集中

『SSDW CONTEST』  
～SAM もゲストパフォーマンスを披露！～

- 【日 時】 2015(平成 27)年 11 月 22 日(日) 10:00～16:00
- 【会 場】 代々木公園野外ステージ ※雨天決行・荒天中止
- 【参加資格】 (1)エントリー条件(①～③までの全ての条件を満たしていること)  
① 申し込みの時点で高校 1 年生～3 年生に在籍していること。  
② 学校公認のダンス部またはみなしダンス部(学校公認の部活動で、活動の中にダンスが含まれる部)に所属していること。  
③ 同一高校の同一ダンス部から複数チームでのエントリーは不可。  
(2)人数  
1 チームの人数 5 名以上 10 名以下  
(3)作品  
ステージサイズ:横 17m×奥行 15m  
時間:2 分以上 2 分 30 秒未満(※規定時間を超えた場合失格)  
小道具の使用:自分たちで設置できるものであれば可。登場前 30 秒、終了後 30 秒以内で準備撤収できるもの。(※準備撤収時間を超えた場合失格)
- 【出 場 枠】 全国より先着 40 チーム
- 【募集期間】 9 月 18 日(金)～11 月 13 日(金) 19 時締切  
※先着順で WEB/FAX で 40 チームの応募があった時点で締切
- 【参加費】 無料
- 【応募方法】 (下記 2 つの方法から 1 つを選択)  
1. SSDW 公式サイト上のエントリーフォームにて応募 URL:<http://www.streetdanceweek.jp>  
2. エントリーシートを FAX 送信にて応募 FAX:03-5312-9822  
※詳細は、公式サイトをご覧ください。
- 【内 容】 高校生を対象に、柔軟な発想と共同作業が必須となるチーム型のストリートダンスコンテストを通じて、次世代のルーキーの育成・発掘を目的として実施。また、連携団体やプロダンサーがゲストパフォーマンスを披露。SAM(TRF)を筆頭に、伝説のハウスダンスチーム『ROOTS』から KOJI、世界大会で優勝経験を持つ実力者 PInO、そして様々な世代で活躍する生粋のハウスダンサーによる世代を超えたスペシャルショーケースのほか、SHOWGUN、s\*\*t kingz がパフォーマンスを行います。
- 【審査方法】 審査員とオーディエンスによる投票の総合点により審査
- 審査員  
shoji(s\*\*t kingz)、国際交流基金アジアセンター、  
アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、株式会社パルコ
- オーディエンス審査方法  
当日会場で鑑賞しているオーディエンスによる、特設サイト上での投票
- 【入賞特典】 <優勝特典>国際交流基金アジアセンター賞
- ① 11 月 23 日(月・祝)に渋谷区文化総合センター大和田 さくらホールで開催される日本とアジアの 90 年代生まれのダンサーと若手クリエイターによる舞台作品『A Frame』へのフロントアクトとして出演

- ②「DANCE DANCE ASIA」(主催:国際交流基金アジアセンター、株式会社パルコ)の  
東南アジアツアーへの参加  
※実施時期、派遣国、内容についての詳細は、別途、国際交流基金アジアセンターの責任に  
おいて定めます。

<準優勝特典>アーツカウンシル東京賞  
本年度内にプロダンサーを派遣し、学内にて無償ワークショップを開催

【その他】

<総合司会>  
MC IMAGINE(イマジン)

<プロのストリートダンサーによるショーケース>  
参加チーム: SAM+KOJI+PiInO+KATSUMI+GENKI+SHOGO+YOSHIYUKI、SHOWGUN、s\*\*t kingz

<連携団体によるショーケース>  
参加チーム: 福祉事業団体ソーシャルワーカーズ、教員団体 DANCE X “cross”、  
関東大学学生ダンス連盟 Σ ダウン症キッズ団体 LOVE JUNKS、  
ママさんダンサー団体 mamastreet

参加プログラム

三浦大知による SSDW テーマソング「music」を踊ってみよう  
『DANCE WITH music』  
～三浦大知がサプライズ出演～  
～特別振付け動画を SSDW 公式 WEB サイトで公開～

- 【日時】 2015(平成 27)年 11 月 22 日(日) 11:00～17:00 ※3 回予定
- 【会場】 代々木公園野外ステージまわり ※雨天中止
- 【参加費】 無料
- 【内容】 三浦大知による SSDW テーマソング『music』のサビ部分(約 8 小節)の振付けを、公式サイトで公開された動画で参加希望者が事前に覚え、当日、代々木公園内にてみんなで一緒に踊る来場者自由参加型のダンスプログラム。当日開催される全 3 回のうち 1 回に三浦大知が登場し、『music』のパフォーマンスを行います。
- 【動画】 オリジナルと同様の振付けをしっかりと学べる「NORMAL(ノーマル)」版(9 分 12 秒)、ダンス未経験者でも簡単に学べる「EASY(イージー)」版(6 分 53 秒)の 2 種類。  
〔振付け動画 WEB サイト〕 <http://www.streetdanceweek.jp/dance-with>

〔三浦大知 コメント〕

僕自身、これまでダンスを通じて、沢山の素敵な出会いを経験してきました。ダンスは世界共通言語です。今回 SSDW テーマソングに選んでいただいた「music」という曲は、音を楽しむという事の素晴らしさや、誰でもハッピーになれる理屈じゃない魅力を沢山詰め込んだ一曲です。「music」に合わせて体を揺らし、音楽やダンスの素晴らしさを一緒に感じ、国や環境、全てを超えて一つになる。そんな最高の瞬間を、皆さんに体感していただけたら幸せです。



三浦大知

## 異分野の表現者がストリートダンスについて熱く語り合う 『Talk Spot』 ～ダンサー代表として SAM(TRF)も参加～

- 【日時】 2015(平成27)年11月22日(日)  
第1部 11:30～12:30  
第2部 14:00～15:00
- 【会場】 代々木公園イベント広場
- 【参加費】 無料
- 【内容】 ストリートダンスの過去、現在、未来の可能性を様々な視点から話し、知り、学ぶ、異分野の表現者による対談。
- 【テーマ】 <第1部> ストリートダンス文化の創造と発信の未来  
<第2部> コミュニケーションツールとしてのストリートダンスが持つ魅力や可能性について
- 【出演者】 <第1部>

〔パネラー〕

ハセベケン  
長谷部健氏 <渋谷区長>

1972(昭和47)年3月、渋谷区神宮前生まれ。神宮前小学校・原宿中学校卒業。佼成学園高等学校卒業。専修大学商学部卒業。(株)博報堂退職後、NPO法人 green bird を設立し、まちをきれいにする活動を展開。原宿・表参道から始まり全国60ヵ所以上でゴミのポイ捨てに関するプロモーション活動を実施。2003(平成15)年から渋谷区議会議員(3期12年)。2015(平成27)年4月27日から渋谷区長就任。

SAM氏 <TRF>

15歳で初めてDANCEのおもしろさを知る。その後単身NYへダンス留学。スタジオでクラシックバレエやジャズダンスの基礎を学ぶ一方で、ストリート・ダンス/ハウス・ダンスなどを修得。あらゆるジャンルのDANCEをバックボーンに持つ。Dance界における活躍は周知の通りである。TRFのコンサートのステージング構成/コレオグラフィはもちろん、SMAP、浜崎あゆみ、東方神起、BoA、V6その他多数のアーティストの振付、コンサートプロデュースを行い、ダンスクリエイターとして幅広い活躍をしている。また、ダンス・イベントのオーガナイザーや新人アーティストのプロデュースなど幅広い活動を行っている。近年、次世代ダンサー育成、リサーチの為、多くのダンサーオーディションを手がけ、自ら主宰するダンススタジオ「SOUL AND MOTION」でレッスンも行っている。

〔SAM コメント〕

ストリートダンスの聖地、渋谷が発信する初の試み。11月22日、23日の2日間、渋谷が最高のダンスで埋め尽くされます。このイベントは、ダンスを見て楽しむだけでなく、「参加する」「学ぶ」「競う」といったあらゆる角度からダンスを体感することが出来る、まさに3D感覚なイベントです。色々な形でダンスを味わう事が出来るので、自分の好みに合わせて是非楽しみに来てください。



SAM

ミヨシカツノリ

三好勝則<アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)機構長>

1953(昭和28)年、香川県生まれ。東京大学法学部卒業。自治省(現在の総務省)に入省し、国及び地方自治体において、行財政や地域政策に関わる制度の立案、執行に携わる。この間に、東京都生活文化局文化振興部長、香川大学大学院地域マネジメント研究科教授を歴任し、「文化を基調とした地域再生に関する研究会(山折哲雄座長)」委員などをつとめる。2012(平成24)年、東京における芸術文化創造のさらなる促進と東京の魅力向上を図ることを目的として、アーツカウンシル東京が公益財団法人東京都歴史文化財団に設立されたことに伴い機構長に就任する。あわせて、文化庁文化審議会臨時委員・文化政策部会委員、東京芸術文化評議会専門委員・文化プログラム検討部会委員。また、日本計画行政学会理事、香川大学客員教授、工学院大学建築学部まちづくり学科特任教授[2015(平成27)年から非常勤講師]など。

## [ナビゲーター・MC]

モリリュウイチロウ

### 森隆一郎 <アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)広報調整担当課長>

1966(昭和41)年東京生まれ。公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京広報調整担当課長。1990(平成2)年「江東区文化センター」で生涯学習講座やホール公演、コミュニティ企画等を担当、1998(平成10)年から「ティラこうとう」でオーケストラやバレエ公演の企画制作のほか、様々なフェスティバルや実験の公演などを企画制作。2002(平成14)年「アサヒ・アート・フェスティバル(AAF)」に立ち上げより参画。「AAF すみだ川アーツのれん会」では地域文化資源の橋渡しとしての企画を多数実施。2007(平成19)年より福島県いわき市「いわき芸術文化交流館アリオス」のマーケティングマネージャー。多様な市民にとって、施設がアートを通じた出会いや気づきの場となるための仕組みづくりを実践。2012(平成24)年4月より東京文化発信プロジェクト室。2015(平成27)年組織統合により現職。

## <第2部>

## [パネラー]

ホリエハルキ

### 堀江治喜氏 <Sound Cream Steppers>

日本のHIP HOPの第一人者。1983(昭和58)年、16歳にしてブレイクダンサーとして仕事を始める。18歳の時、更なるエンターテインメントの追求のため、劇団青年座で本格的な演技を学ぶ。数々の経験を経てロンドン・NYへ渡り、オールジャンルのダンスを身に付ける。80年代後半のダンスブームの中、フジTVダンスダンスダンスで全国的なダンサーとなりtcfの初期メンバーを経て、1993(平成5)年 Sound Cream Steppers を結成。活動の場はストリートから東京ドームまで、世界的なダンスの大会や、イベントでは審査員、MC、ゲストショーをこなす。そのハイレベルなエンターテインメント性は他の追随を許さない。また、ストリートダンスの歴史などの側面を正しく伝えるという文化的な活動も精力的に行っている。

オカモトカズタカ

### 岡本和隆氏 <東京学芸大こども未来研究所外部研究員>

ダンサーとしてダンスショーや振付などで活躍したのち、東京都内公立中学校体育教員となる。10年以上前より大学で、学校教育における現代的なリズムダンスの学習内容に関する研究を行う。昨年末、全国リズムダンスふれあいコンクールで、指導した学級が文部科学大臣賞を受賞。また、先生がダンスに夢中になる場を提供する「DANCE X “クロス”」を立ち上げ、先生仲間とダンスサークル活動なども行っている。さらに、東京学芸大こども未来研究所の外部研究員としてダンス教育のカリキュラムを開発し、制作監修として関わった「現代的なリズムのダンスⅠ・Ⅱ」(DVD)や、ダンス教育アドバイザーとして協力した「振付稼業 air:man の踊る教科書」が東京書籍より発売。リズムダンス授業の進め方に悩む教師を描いたTBS系ドラマNEO「放課後グルーヴ」のダンス授業監修を担当するなど、ダンス教育の普及活動を精力的に行っている。

ヨシオカノリヒコ

### 吉岡憲彦 <国際交流基金アジアセンター文化事業チーム長補佐>

早稲田大学第一文学部卒。バンコク日本文化センター勤務、タイ王国チュラロンコーン大学大学院(国際経済学)、ベトナム日本文化交流センター副所長を経て、現職。現在は主に舞台芸術分野におけるアジアとの交流に従事し、「ダンス・ダンス・アジア」、「アンサンブルズ・アジア」等を担当。共著に『アジア映画』[2003(平成15)年]、翻訳にプラブダー・ユン(タイ人作家)『地球で最後のふたり』[2004(平成16)年]、『座右の日本』[2008(平成20)年]など。

## [ナビゲーター・MC]

ウエノアキコ

### AKIKO(上野暁子)氏<(株)LAST TRAIN GETTER>

株式会社 LAST TRAIN GETTER イベントディレクター・プロデューサー兼代表取締役。イベント出演やインストラクターもこなす現役ダンサー。“社会にダンスをつなげる”をコンセプトに、日本最大規模のZEALスタジオの立ち上げに携わる。2013(平成25)年、ストリートダンス×アクロパティック集団 BLUE TOKYOを発足。PARCO主催「ASTERISK」[2013(平成25)年～]、国際交流基金・PARCO主催「DANCE DANCE ASIA - Crossing the Movements」[2014(平成26)年～]のキャスティング・制作協力を行う。1998(平成10)年より続くストリートダンスのポータルサイト「トウキョウダンスマガジン」の編集長をつとめる等、15年以上のキャリアを誇る、業界でも数少ないダンスビジネス・プロデューサーの一人である。

## ◀『Shibuya StreetDance Week 2015』その他のプログラム内容▶

### 鑑賞プログラム

世界的に活躍するダンサーによる舞台やショーケースを通して  
プロフェッショナルなストリートダンスの芸術性を感じるプログラム

## アジアの90年代生まれのダンサーと 日米若手クリエイターによる舞台作品

### 『A Frame』

～演出 oguri(s\*\*t kingz)、Jillian Meyers、スズキ拓朗～

【日時】 2015(平成27)年11月23日(月・祝) 2回公演

・第1回:開演14:00(開場13:30)

・第2回:開演18:00(開場17:30)

【会場】 渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

【入場料】 一般:3,000円 学生:2,000円 (全席指定・税込)

※当日、入場時に学生証をご提示ください。

【チケット情報】 下記プレイガイドにて好評発売中

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:630-815)

ローソンチケット 0570-084-003(Lコード:73363)

イープラス <http://eplus.jp>

※チケットぴあとローソンチケットは一部携帯電話・全社PHSからはご利用できません。

【出演者】 The90sASIA(ザナインティーズアジア)

TAISUKE/KATSUYA/YU-YA/Ruu/IBUKI/KAZANE/KYOKA/youki/KTR/SAKI

Maitinhvi(ベトナム)、MAMiQ(インドネシア)、Peach Pauline(マレーシア)、

Salt(インドネシア)、TE DOUBLE D Y\_TEDDY(マレーシア)、Zyro Santos(フィリピン)

【演出】 oguri(s\*\*t kingz)、Jillian Meyers、スズキ拓朗

【内容】 世界を舞台にダンスと演劇界で活躍する日・米の若手クリエイター3人が90年代生まれのアジアのスーパーダンサーたちと奏でる新感覚のストリートダンス舞台公演。



## 世界屈指のレベルの実力派ストリートダンサーによる SSDW 特別クラブショーケース 『SSDW night ～immix～』

【日時】 2015(平成27)年11月22日(日)

18:00～20:00(開場17:00)

【会場】 HARLEM

【入場料】 一般:3,000円 学生:2,000円 (オールスタンディング・税込)

※当日、入場時に学生証をご提示ください。

【チケット情報】 下記プレイガイドにて好評発売中

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:630-815)

ローソンチケット 0570-084-003(Lコード:73363)

イープラス <http://eplus.jp>

※チケットぴあとローソンチケットは一部携帯電話・全社PHSからはご利用できません。

- 【出演者】 Chii×静香/MASAMI×YOUTEE×REIMI/NOPPO×McGee/S.A.S×7DOWN8UPPER/  
YORI×つとむ×啓×HILOMU×Loo-Ty/松田尚子×Seishiro/零 (Kelo&Atsushi&Yusei)/  
SODEEP/東京ゲゲゲイ/AZUR-D-BOYZ/ZIGSO/KING OF HOUSE/REAL HOT SUN/  
HATABOY/アカバナアサキミウ 他
- 【内容】 世界屈指のレベルの実力派ストリートダンサーを、異なるジャンル同士で組み合わせること(immix)によって生み出される本イベント向けの特別クラブショーケース。

## 参加プログラム

代々木公園という開かれた公共空間において、キッズからシニアまで多くの世代の人々が実際にストリートダンスに触れ合うプログラム。ダンスに関心のある若者から、今までダンスに接点の無かった方々まで様々な角度から、ストリートダンスを身近に感じることができるプログラム。

### キッズ・シニアまでダンスに挑戦 『Lecture Spot』

- 【日時】 2015(平成27)年11月22日(日)  
①10:00~11:00 キッズ・シニア向けワークショップ(講師:UNO)  
②12:30~13:30 初心者・一般向けワークショップ(講師:SORI)  
③15:00~16:00 初心者・一般向けワークショップ(講師:AKIHIRO)
- 【会場】 代々木公園イベント広場 ※雨天決行・荒天中止
- 【参加費】 無料
- 【参加者】 150名(1レッスン50名)程度(初心者・一般、キッズ、シニア)  
※先着順で当日会場内にて申し込み受付
- 【内容】 プロダンサーによる無料の青空ダンス教室

### 次世代のストリートダンサーによる白熱ジャンル別ソロバトルイベント 『BATTLE PARK』

**現在参加者募集**

- 【日時】 2015(平成27)年11月22日(日) 11:00~17:00
- 【会場】 代々木公園ケヤキ並木 ※雨天決行・荒天中止
- 【参加費】 無料
- 【出場枠】 ダンス経験者320名(各ジャンル80名)
- 【内容】 ジャンル別(HIPHOP/HOUSE/BREAK/ALL STYLES)ソロバトルイベント。予選はサークルバトルからのオーディション形式(同ジャンルで2サークル同時に開始)。準々決勝からは各ジャンル勝者による4人1組のクルーバトルで優勝チームを決定。
- 【受付・選考】 <選考方法> 各ジャンル2名のエキスパートによる審査  
<受付方法> 公式サイトにてネット申し込み(先着順)  
<募集人数> 320人(4ジャンル各80名)(先着で定員に達し次第締切)  
<審査員> 国内外のバトルで優勝経験があるプロのダンサー  
<優勝特典> Re:Fine渋谷賞(ボディメンテナンスチケット)





- <募集期間> 2015(平成27)年10月1日(木)~11月19日(木)PM12:00 WEB 申込締切  
(各ジャンル定員 80 名先着で定員に達し次第締切)
- <審査員> HIPHOP: KENTO(S.T.O)、Yusei(D-BLAST/KING OF SWAG)  
HOUSE: SHUHO(TOKYO FOOTWORKZ)、TAIKI(SUPER BEAT MAGICIANZ)  
BREAK: SUV(NAT)、キムタク(1987SWAG)  
ALL STYLES: Twiggz(SKJ/Twiggz Fam)、RYUICHI(バファリンとリュウイチ)
- <DJ、MC> DJ: DJ HIROKING、TAKKY、TMYK MC: MC だーよし

## 対話プログラム

ストリートダンスの歴史、背景、そして仕事としてのダンスなど、  
ストリートダンスの可能性を討論するプログラム。  
また、異分野のゲストを迎えたトークセッションで、様々な角度から  
ストリートダンスの魅力を語り合う。

### ストリートダンスの社会的な役割を紹介 『Communication Booth』

- 【日時】 2015(平成27)年11月22日(日) 11:00~16:00
- 【会場】 代々木公園イベント広場
- 【参加費】 無料
- 【出演者】 福祉事業団体ソーシャルワーカーズ、教員団体 DANCE X “cross”、関東大学学生ダンス連盟 2  
ダウン症キッズ団体 LOVE JUNKS、ママさんダンサー団体 mamastreet
- 【内容】 ストリートダンスを教育や社会奉仕活動に取り入れている団体の活動紹介や、団体参加者との対話の機会を設ける。活動内容のチラシの配布や、団員への質疑応答などの実施により、ストリートダンスを活用した様々な社会的な取り組みを知ってもらう。

※ 全てのプログラムの内容は、都合により変更になる場合があります。

#### -国際交流基金アジアセンターについて-



国際交流基金は、世界の全地域において、総合的に国際文化交流事業を実施している日本の専門機関です。アジアセンターは、2014年4月に国際交流基金内に新設された特別ユニットであり、アジアの中で、人と人とを繋げ、ネットワークを広げ、アジアの文化を共につくることを目指しています。音楽、演劇、映画やスポーツから日本語教育、学術まで、様々な分野で事業を実施しながら、アジアの人々の交流活動をいろいろなかたちで応援していきます。また、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、日本とアジア諸国との文化交流を促進、強化する様々な事業を実施していきます。

URL: <http://jfac.jp/>

#### -アーツカウンシル東京について-



ARTS COUNCIL TOKYO

東京芸術文化評議会から東京都知事への提言に基づいて2012年に発足しました。世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。

URL: <https://www.artscouncil-tokyo.jp/>

#### -株式会社パルコについて-



株式会社パルコが担うエンタテインメント事業は、演劇や音楽、映画、アート分野で新しいカルチャーを積極的に紹介し、アンダーグラウンドシーンをアップグランドに押し上げる一助を担ってきました。2011年からは新しいエンタテインメントとしてストリートダンス舞台公演、KAAT ストリートダンスフェスティバル(2011)、アスタリスク(2013・2014・2015)、s\*\*t kingz(2014)、DANCE DANCE ASIA-Crossing the Movements など話題の企画を国内外に発信しています。

URL: <http://www.parco.co.jp/>